

# 全国協議会 ニュース

2018年12月1日発行 第318号

発行所：特定非営利活動法人  
全国骨髓バンク推進連絡協議会  
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階  
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365  
発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）  
http://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

## 都道府県担当者会議開催 ドナー登録推進活動、大きな前進を期待！

11月30日（金）東京都千代田区神田錦町において、公益財団法人日本骨髓バンク（以下、財団）の主催により、46都道府県（行政）の骨髓バンク担当者が一堂に会しての会議が開催されました。会議では「都道府県の役割、赤十字血液センター・財団・ボランティア団体との連携、若年層ドナー登録推進の具体策」について、意見交換が行われました。

今後、各都道府県における骨髓バンク事業関係者の連携が進み、普及啓発及び若年層のドナー登録推進活動が大きく前進することが期待されます。

本会議では、冒頭に国（厚生労働省移植医療対策推進室）からの挨拶と要請があり、財団から「①日本骨髓バンクの現状と課題、②都道府県ごとに骨髓バンク推進連絡会議の設置、③学校での語りべ講演会、④若年層に特化したドナー登録会」などの報告と要請が行われました。また、長野県、神奈川県、兵庫県から取り組み状況の報告があり、その後、全国6ブロックの都道府県グループに分かれて、「今後のドナー登録推進活動の具体策」について、熱心な意見交換が行われました。

### 国の強い要請

骨髓バンクのドナー登録者年齢の中央値（ピーク値）は、2005年当時32歳から2017年44歳へと高齢化が顕著。また、年間2万人以上が年齢超過等で取消となっており、今後ドナー登録者が激減する事態も予想されること。一方で若年層のドナー登録推進活動は、都道府県により大きな違い（格差）があり、改善傾向が見えていません。

こうした中、国は昨年秋、日本骨髓バンクと日本赤十字社の三者による連絡会議を設置し、具体的な対策の協議を開始しました。今回の都道府県担当者会議は、国の強い要請により開催されたものです。

移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（関係条文を掲載）

（地方公共団体の責務）

第五条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との適切な役割分担を踏まえて、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（関係者の連携）

第八条 国、地方公共団体、造血幹細胞提供関係事業者、第四十四条第一項に規定する支援機関及び医療関係者は、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進を図るため、相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならない

（国民の理解の増進）

第十条 国及び地方公共団体は、教育活動、広報活動等を通じて、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する国民の理解を深めるよう必要な施策を講ずるものとする。

### ご寄付のお願い

私たち全国協議会のボランティア活動は、①普及啓発活動、ドナー登録推進活動、②患者・家族への支援活動（フリーダイヤルでの相談活動、ハンドブック「白血病と言われたら」発行配布）、③患者支援基金設置と助成活動、④より良い骨髓バンク・医療を求める提言・要望活動 などです。

こうした活動は、善意のご寄付により行われています。最近では資金が乏しく困難になっています。皆様のあたたかなご援助を心よりお願い申し上げます。

私たちの活動を支える賛助会員も広く募集しています。

お問い合わせは事務局までお願いいたします。



### 骨髓バンクの最新情報をお知らせする

#### 骨髄バンク NOW

《MONTHLY JMDP(11月15日発行)より抜粋》

#### ■日本骨髓バンクの現状(2018年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,852	4,019	492,332	752,553
患者登録者数	201	264	4,049	55,019
移植例数	84	109	—	22,508

#### ■10月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム／1,191人、献血併行型集団登録会／2,576人、集団登録会／182人、その他／70人

#### ■10月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,479人／20代 73,746人／30代 136,795人  
40代 211,302人／50代 66,010人

#### ■10月の20歳未満の登録者454人

■10月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：582件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

### ドナー登録受付場所(平成29年度)

新規ドナー登録者総数	34,990人
・献血併行登録会	23,348人 (4,823回開催)
・献血ルーム登録	10,612人
・集団登録会	457人 (27回開催)
・保健所登録	563人

※都道府県別一覧は2面に掲載

### 年齢別ドナー登録者(現在数)

10歳代	4,479人 (1%)
20歳代	73,746人 (15%)
30歳代	136,795人 (28%)
40歳代	211,302人 (43%)
50歳代	66,010人 (13%)
合計	492,332人 (100%)

## 都道府県別一覧（年間ドナー登録者数推移、推進連絡協議会設置状況など）

都道府県	新規ドナー登録者数				推進連絡協議会 設置状況	推進連絡協議会 直近3年継続中	献血併行型ドナー登録会3年連続増	
	平27年度	平28年度	平29年度	3年連続増			(大学・専門学校)	(献血ルーム)
北海道	428	718	936	○	△	△	○	
青森	1,176	896	964					
秋田	88	74	69					
岩手	129	117	157					
宮城	1,253	1,301	1,232					
山形	577	665	651		○	○		
福島	591	586	556					
茨城	493	372	441					
栃木	2,359	2,050	2,254		○	○		○
群馬	354	538	451					
埼玉	764	956	1,295	○	○	○	○	
千葉	737	1,099	1,440	○	○	○	○	
東京	2,987	3,030	3,321	○			○	
神奈川	551	1,199	1,650	○	○	○	○	○
新潟	281	338	376	○	○	○	○	○
山梨	104	103	104					
長野	178	288	513	○	○	○	○	
富山	142	256	197		○			
石川	152	127	280		○	○		
福井	97	98	54				○	
岐阜	240	271	353	○				
静岡	477	492	501	○	○	○		
愛知	997	1,298	1,338	○	○	○	○	
三重	206	274	224					
滋賀	244	793	883	○	○	○	○	
京都	1,396	1,242	1,105		○	○		
大阪	1,437	1,551	2,547	○				
兵庫	1,256	1,197	1,524		○	○	○	○
奈良	181	286	494	○	○	○		
和歌山	508	527	657	○	○	○	○	
鳥取	115	157	146					
島根	402	442	508	○	○	○		
岡山	567	695	747	○	○	○	○	
広島	437	616	594				○	
山口	172	198	179		○	○		
徳島	157	135	176					
香川	387	429	372		○	○		
愛媛	385	532	466		○	○		
高知	264	333	369	○	○	○		
福岡	1,279	1,426	1,198					
佐賀	297	303	245					
長崎	460	496	326					
熊本	835	552	572					
大分	246	343	389	○				
宮崎	291	332	327				○	
鹿児島	224	400	424	○	○			
沖縄	1,789	2,128	1,385					
計	28,690	32,259	34,990	19	24	22	16	4

△ボランティア主催の会議

(出典：公益財団法人日本骨髄バンク「都道府県担当者会議」資料)

# APBMT2018 in 台北・年次総会 新興国参加者にマイレージを提供



写真、左から順番に Yukari Nakao (Japan)、氏名不明 (Indonesia)、Damai Santosa (Indonesia)、Minako Iida (Japan)、Yoshiko Atsuta (Japan)、Aye Aye Gyi (Myanmar)、Shinichiro Okamoto (Japan)

第23回アジア太平洋造血細胞移植学会 (Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation: APBMT) が、2018年11月2日(金)から4日(日)まで台湾台北市で開催されました。今回は医師のみでなく看護師やコメディカルスタッフを含む600名を超える参加者が集まり、3日間にわたる招請講演・教育講演・口演発表・ポスター発表等において、最先端の研究発表と熱のこもった質疑応答が行われました。

APBMTでは毎年「APBMT Region-

Specific Program」という企画で、造血幹細胞移植を始めたばかり、または移植数をこれから増やしていこうという移植新興国の代表者が、各国の移植医療の実情や問題点を発表し、それをもとにAPBMT本部がこうした移植施設への今後の教育や援助を検討するという企画があります。今回、全国骨髓バンク推進連絡協議会によるデルタマイレージを活用した渡航航空券提供事業から援助を受けた3名の先生が発表の機会を得ることができました。ま

た、他に1名がAPBMTの放射線事故管理委員会の次期座長として参加することができました。

APBMTは、アジア太平洋地域の21カ国が加盟する国際学会で、年一回、参加各国がホスト国となり年次総会を行っています。参加国は、東はニュージーランド、西はイラン、南はオーストラリア、北はモンゴルまで広大な地域に及んでおり、加盟国21カ国のいずれの国で総会が開かれても、参加者はかなりの距離を移動しなくてはなりません。参加国の中にはいわゆる新興国と呼ばれる国も多く、学会参加のための旅費の工面ができず参加を諦めざるを得ない若い医師や研究者が数多くいると聞いていました。

今回の4名の参加者はいずれも「このシステムがなければ今回の学会参加は諦めていたかもしれない」「私の国の若い医師や研究生もこのシステムを使わせてもらえばもっとAPBMTに参加できるだろう」と言っていました。

今後もこのサポートを続けていただければ、アジア太平洋地区の移植医療はより一層伸びていくことが期待されます。4名の参加者に代わりまして今回のご支援に感謝申し上げますとともに、引き続きAPBMTの活動にご協力を賜りますようお願いいたします。

APBMT事務局

愛知医科大学造血細胞移植振興寄付講座  
飯田美奈子

## Report of APBMT meeting

The APBMT meeting that was recently held in Taipei, Taiwan was a fruitful meeting to me. I was asked to share the data of Malaysian Bone marrow /Haematopoietic stem cell registry. It was a good opportunity for me to meet and discuss with other transplanters from the region. We can learn from each other through this type of interactive session and it can help to promote and improve bone marrow transplant in the region. I also find the various lectures/talks were very informative and useful. I personally was interested in and learnt a lot from the haploidentical SCT and immunotherapy sessions. I have started haploidentical transplant a few years ago and it has given chances to many patients who might not able to find a donor in the past. With the knowledge I gained from the meeting, I hope the outcome of my patients undergoing haploidentical transplant will be further improve.

University of Malaya, Malaysia Bee Ping Chong

## APBMT 会議の報告

先日台北で開催されたAPBMTの総会は私にとって、とても実りのある会となりました。

マレーシアの骨髓および造血幹細胞登録レジストリーから、この会議でデータを共有するように要請を受けたのですが、私にとっては他の地域の移植医と会って意見を交わすよい機会となりました。

このような相互的な活動を通して我々はお互いに学ぶことができ、それは地域の造血細胞移植を推進し、改善するのに役立つでしょう。また、様々な講義・講演は非常に有益であり、有用であったことも感じました。

免疫療法、ハプロ移植についてのセッションは、個人的に、大変興味深く、学ぶべき点が多くありました。私も数年前からハプロ移植を行っており、過去であればドナーを見つけることができなかったかもしれない多くの患者さんに、移植の機会を与えることができました。私はこの総会で得た知識をもとに、ハプロ移植を受けた患者さんの結果が更に改善できることを願っています。

マレーシア・マラヤ大学 ビー・ピング・チョング

# 東京雪祭 2018 「スノーバンク」開催 献血者 238 人、ドナー登録者 117 人



写真右：荒井善正さん

東京雪祭 2018 SNOW BANK PAY IT FORWARD (主催：一般社団法人 SNOW BANK・荒井善正代表) が、11月10日(土)11日(日)の2日間、東京・渋谷区代々木公園イベント広場で開催されました。「骨髄バンク」をスノーボード・スケートボード・アート・

音楽・ダンスの楽しさなどで伝えるとともに、特に数の少ない若年層の骨髄ドナー登録者数を増やすことを目的として開催され、今年は8回目となります。

2日間とも2台の献血車が配置され、首都圏の東京・神奈川・埼玉・千葉のボランティア団体の協力もあって、新

記録となる骨髄バンクドナー登録者117人、献血者238人と大きな成果をあげました。毎年の献血活動に対し、日本赤十字社から荒井代表に感謝状が贈られました。全国協議会では今年もブースをお借りし、普及啓発と募金の呼びかけ、そしてご家族連れにおもちゃすくいを楽しんでいただきました。移植を受けた患者さんが何人も立ち寄ってくださり、このイベントが広まってきたことを実感しました。

## サカエ会ボーリング大会



写真左：伊藤栄一さん

11月24日(土)飯塚第一ボウル(福岡県飯塚市)にて、骨髄バンクチャリティーボーリング大会がNPO法人サカエ会により開催されました。

サカエ会は、筑豊地区を魅力ある地域社会とすることを目的に、地域の90団体から構成されるNPO法人で、ボランティア活動や地域イベント開催など幅広く展開されています。

骨髄バンクチャリティーボーリング大会は、今回で6回目となりました。

毎回趣向を凝らした内容になっておりますが、今回もお笑いタレントの桜もちひこさん・かんだーにゃさんの司会により、100人を超える参加者は大いに盛り上がる楽しい企画となりました。

寄付は参加費の一部と、各レーンに募金箱を持って寄付のお願いに行くの

ですが、今年も15万円を超えるご寄付が集まり、表彰式で伊藤栄一代表理事から手渡されました。筑豊地区で昔から言われる「川筋気質」のような人情の厚さを感じるサカエ会の皆さまに感謝です。

## 基金給付を受けた方からのメッセージ

### 志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)

分子標的薬支援と精子保存支援をしていただいた〇〇と申します。

この度は誠にありがとうございます。仕事復帰ができず、収入がない状

態でこのようなご支援をしていただけたことに、感謝しております。

移植から1年が経ちましたが、幸いなことに経過は良く少しずつ日常を取り戻しております。治療はまだまだ続くため、貴会にお世話になることがありますが、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

順調に社会復帰できた際には、貴会に御返しさせていただこうと思ひます。

(関東地方在住)

## 賛助会員の皆さま紹介 (敬称略)

### 【一般賛助会員】

一般社団法人鳳凰 JAPAN 緒方康裕 = 茨城

## 心からのご寄付に感謝申し上げます ● 10月21日～11月20日 (敬称略)

●一般	株式会社コーケン	現金 100,000円	匿名	現金 100,000円	匿名	現金 20,000円
	三群警備保障株式会社	現金 30,000円	匿名	現金 39,462円	●募金箱	株式会社 マルト商事
	NPO法人サカエ会	現金 151,305円	匿名	現金 28,441円	株式会社 マルト商事	現金 57,466円
	山村 詔一郎	現金 2,452円	匿名	現金 1,000円	株式会社 マルト商事	現金 167,128円
	田中 重勝	現金 30,000円	匿名	現金 5,000円	大河内小児科医院	現金 3,735円
	野平 晋作	現金 1,276円	匿名	現金 5,000円	ゴールドジム	大宮さいたま
	藤波 敬子	現金 10,000円	匿名	現金 3,000円		現金 2,220円
	笠原 光子	現金 2,000円	匿名	現金 20,000円	匿名	現金 5,088円
	豊田 さやか	現金 10,000円	匿名	現金 10,000円	●つながる募金	
	江崎 切手	切手 1,140円	匿名	現金 10,000円		現金 11,933円

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655 郵便振替口座 00150-4-15754

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会